

令和6年 6月定例会



「交流拠点施設こぶしのさと」として、来年3月に再開予定の旧土佐佐賀温泉
(令和6年7月3日、拳ノ川。3P、5P、6Pに関連記事あり)

6月7日から14日まで開催。
条例の制定・一部改正が4件、令和6年度補正予算が2件、請負契約の締結が3件、物品売買契約の締結が1件の10議案が提出。

加えて、最終日に令和6年度補正予算1件、人権擁護委員の推薦2件の3件が提出され、全議案が可決された。

また、一般質問では11議員が町政への質問・提案を行った。

●令和6年度一般会計補正予算

新エネルギー会社への補助金などで

4億3千万円弱増額し、113億円弱に

4億2629万円を増額し、総額をそれぞれ12億9629万円とするもの。

概要は、脱炭素対策費として新エネルギー会社補助金3億5252万円、地域おこし協力隊及び佐賀北部活性化対策に係る事業費3677万円、町営住宅等整備工事3700万円などの追加によるもの。

これらの歳出に対応するための歳入は、国庫支出金、県支出金及び町債となっており、収支の調整を基金繰入金で行っている。

また、今回の補正予算において、債務負担行為の補正を行っている。

可決（全員）

主な補正

脱炭素先行地域計画で太陽光発電を

■新エネルギー会社補助金 3億5252万円

事業概要は、脱炭素先行地域への採択を受けての再生可能エネルギー設備設置計画の一つとして太陽光発電設備を導入するもの。

目次

- 2P 令和6年度一般会計補正
新エネルギー会社へ
3億5千万円補助
- 3P 令和6年度一般会計補正
(追加) 各種給付金で
デフレ脱却を
- 4P 大方高校東側に
教育振興交流施設建設
- 6P 委員会のうごき
・「こぶしのさと」
来年3月再開へ
・道の駅整備へ
委員会設置条例を
- 7P 浜松更新住宅
建築工事始まる
- 9P 11議員が一般質問を



わたしたちが描いた2050年
ゼロカーボンシティ
黒潮町

当町が描く「2050年ゼロカーボンシティ」のイメージ図（抜粋）